

自分に合った「多焦点眼内レンズ」を選びましょう

レンズの種類	特徴	焦点が合う距離 (よく見える距離)				メリット (優れている点)	デメリット (課題となる点)
		30cm	50cm	1m	5m(遠方)		
2焦点型 (+4.0D)	遠方と 近方(33cm)に 焦点が合う	よく見える			よく見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書や編み物をするときなど、近距離にピントが合う ● 視力が手術翌日から出る場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある ● 眼鏡が必要な場合がある ● 若干白っぽく見える場合がある
2焦点型 (+3.25D)	遠方と 近方(42cm)に 焦点が合う	よく見える			よく見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 料理やパソコン作業をするときなど、近距離にピントが合う ● 視力が手術翌日から出る場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある ● 眼鏡が必要な場合がある ● 若干白っぽく見える場合がある
2焦点型 (+2.75D)	遠方と 近方(50cm)に 焦点が合う	よく見える			よく見える	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツや買い物をするときなど、中間距離にピントが合う ● 視力が手術翌日から出る場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある ● 眼鏡が必要な場合がある ● 若干白っぽく見える場合がある
3焦点型	遠方と 1m/40cmに 焦点が合う	よく見える	よく見える		よく見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 眼鏡の使用頻度が低い ● 乱視矯正可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある ● 視力が出るのに時間がかかる場合がある
焦点深度 拡張型 (乱視矯正型)	焦点が合う 距離の範囲が 広い	よく見える				<ul style="list-style-type: none"> ● コントラストが高く、明るく見えやすい ● 焦点が合う距離の微調整が可能 ● 視力が手術翌日から出る場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある ● 眼鏡が必要な場合がある
連続焦点型 (乱視矯正型)	遠方から近方まで 連続的に 焦点が合う	よく見える				<ul style="list-style-type: none"> ● 中間距離の落ち込みが少なく、遠方から手元まで見える ● コントラストが高く、明るく見えやすい ● 視力が手術翌日から出る場合が多い ● 眼鏡の使用頻度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある